

		前期				後期							
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
教科別の指導	国語	「みんなの前で話をしよう」自己紹介・週末の話 「実習に向けて」挨拶、敬語、手紙の書き方 (言葉の特徴や使い方) (聞くこと・話すこと) (書くこと) (読むこと)				「学校祭に向けて」シナリオ作り、発表練習 (言葉の特徴や使い方) (聞くこと・話すこと) (書くこと) (読むこと) 「カードを送ろう」クリスマスカード・年賀状 (言葉の特徴や使い方) (我が国の言語文化) (聞くこと・話すこと) (書くこと) 「漢字検定にチャレンジ」漢字練習 (書くこと) (読むこと)					「卒業に向けて」メッセージ、色紙、あいさつ練習等 言葉の特徴や使い方(我が国の言語文化) (聞くこと・話すこと) (書くこと) (読むこと)		
	社会	「私達の暮らしについて」 地図の調べ方、電車の仕方、福祉や災害時の対処の仕方など (社会参加ときまり) (公共施設の役割と制度) (我が国の国土の自然環境と国民生活) (我が国の国土の様子と国民生活、歴史)				「京都、長岡京市の地元について知る。」 京都府内のゆるキャラ調べ、乙訓内の公共施設の場所調べ、長岡京市の史跡等 (社会参加ときまり) (公共施設の役割と制度) (我が国の国土の自然環境と国民生活) (我が国の国土の様子と国民生活、歴史)					「伝え方を学ぶ」病院の受付、電話の仕方、注文の仕方等の練習 (社会参加ときまり) (公共施設の役割と制度) (我が国の国土の自然環境と国民生活) (我が国の国土の様子と国民生活、歴史)		
	数学	「四則計算」数と計算 「お金の計算」(数と計算) (データの活用)				「長さと量」 「時刻と時間」 (数と計算) (データの活用)							
	理科	「野菜作り」土作り、野菜購入、栽培、収穫、「実験をしよう」スライム作り等 (生命) (地球・自然)				「野菜作り」土作り、野菜購入、栽培、収穫、 (生命)					「野菜作り」収穫、土作り 「実験をしよう」 (生命) (地球・自然)		
	音楽	「みんなで歌おう」校歌、テーマソング、教科書の歌、J-POP (表現) (鑑賞)				「学校祭の発表に向けて」合奏・合唱等 「好きな曲紹介」リクエスト (表現) (鑑賞)					「卒業・送る会に向けて」式歌、校歌、歌、合奏等 (表現) (鑑賞)		
	美術	「個人作品をつくろう」デッサン、色の勉強、ちぎり絵、和紙染め、風鈴 (表現) (鑑賞)				「展示作品をつくろう」だまし絵、模写、ハロウィン、笑文字 (表現) (鑑賞)					「自信作をつくろう」ペン立て、万華鏡 (表現) (鑑賞)		
	保健体育	「体力測定」 「さまざまなリズムのダンス」(1年をとおして) (体づくり運動) (陸上運動)				「障がい者スポーツ」ボッチャ、フライングディスク (体づくり運動) (球技) (武道) (体育理論) 「トレーニング」バランスボール等 (体づくり運動) (体育理論)							
	情報	「初期設定」アカウント作成 「校外学習事前事後学習」Word、アルバム (コミュニケーションと情報デザイン) (情報通信ネットワークとデータの活用)				「プレゼン作成」(好きな事紹介) (コミュニケーションと情報デザイン) (情報通信ネットワークとデータの活用)					「作品制作」Excel (アンケート、グラフ) Word (カレンダー) (コミュニケーションと情報デザイン) (情報通信ネットワークとデータの活用)		

各教科等を合わせた指導	日常生活の指導	「給食準備をしよう」手洗い、エプロン付け、三角巾付け	「適量を配膳しよう」食器の位置、盛り付け方	「役割を果たそう」役割分担、片付け、配膳		
	生活里元学習	「やってみよう」 身だしなみ（頭髪、着こなし、服たたみ、洗顔、歯みがき等）整理整頓 体力作り（ランニング、ストレッチ） 係活動（健康観察、配布物、）自己チェック	「(支援をもらって)自分でやろう」 身辺整理、身だしなみ 配膳、 体力作り（ダンス）			
	作業学習	「ふれあい・心のステーション製品作り」豆皿づくり（窯業）肩たたき棒、織り布の小物（縫製）	「学校祭の製品作り」織り布の小物、布製品（縫製） 「しごと検定（清掃）を合格しよう」校内の清掃活動（清掃）	「製品作り」アームバンド、かばん 「お役立ち活動」校内清掃		
領域別の指導	特別活動	全校	入学式、始業式、避難訓練、終業式	始業式、学校祭、芸術鑑賞会、終業式	始業式、卒業式、修了式	
		学部	新入生歓迎会、校外学習			卒業生を祝う会
		クラブ、自治	クラブ自治説明会、クラブ活動、自治活動			
		ホームルーム	クラス開き			
		交流学习	台湾交流	交流の広場		
総合的な探究の時間	自立活動	「ソーシャルスキル」スキルかるた、ルールのあるゲーム（カードゲーム、盤ゲーム、レクリエーション等）（人間関係の形成） 「自立に向けて」ちょうちょ結び、洗顔の仕方、お風呂の入り方、服たたみ等（健康の保持） 「手指操作」組み立て、肩たたき棒の棒作り等（身体の動き） 「コグトレ」姿勢、ペア活動、グループ活動（身体の動き、コミュニケーション）				
		実習事前学習、事後学習、実習簿記入、個別実習振り返り 進路先見学	進路先見学 （カラフルラット、エポカ）	実習事前学習 実習事後学習、実習簿記入 個別実習振り返り		

単元名	作業学習窯業「製品作り（豆皿）」	教科・領域の視点	国語、職業、
学部クラス	高等部 7、8組（1年、2年、3年）	（教科・領域等関連表照）	道徳
＜本単元でつきたい力(単元設定理由)＞			
<p>卒業後、就労を希望している生徒がほとんどのため、この作業学習をとおして働くための基礎となる力をつきたい。就労先で必要な、挨拶や報告、連絡、相談を適切に行うこと、継続して作業を行う力等を繰り返し行う窯業の作業のなかでつけていきたい。また、分業作業を取り入れることで、生徒間のコミュニケーション力の向上や、自分の役割に責任をもって最後まで取り組む力をつきたい。</p>			
＜前単元とのつながり＞			
<p>2次では「ふれあい・心のステーション」に向けての豆皿製作を個人作業で行い、指導者への適切な報告、相談の仕方、豆皿作りの基本的な工程を知ることを中心に指導を行った。見通しをもって作業ができるようになったが、生徒の実態により理解や技術にばらつきがあったため、より集中して作業をし、工程を減らすことでより技術の向上を目指せるように、分業作業に移った。集中して作業を継続する時間を確保するため、各生徒が得意とする作業を中心に班分けを行い、また、工程を減らすことで見通しをもち、同じ作業の繰り返しが増えたため、技術の向上も見られている。報告や、生徒間での粘土の受け渡し時の言葉かけを徹底させることで、集団の中での作業を意識して取り組ませたい。</p>			
＜共生社会へのつながり＞			
<p>働くための基礎となる力をつけることがこの授業でのねらいとなっている。作業自体はできていても、継続して続ける力や、言葉遣いに課題がある生徒が多いため、卒業後に働き始めた後でも継続して使うことができる力をつけさせたい。また、本製品は「ふれあい・心のステーション」に出品する製品であるため、自分達の作った製品が地域のお店に並ぶことで、社会と自分との関わりを意識する機会としたい。</p>			
＜単元目標＞			
<p>(1) 同じ作業を繰り返し続ける力を身につけることができる。(思考力・判断力・表現力等)(知識及び技能) (2) 適切に援助を求める力をつけることができる。(思考力・判断力・表現力等) (3) 敬語で挨拶、返事等することができる。(主体的に学習に取り組む態度) (4) 手指の操作を高め、丁寧に作業する力を身につけることができる。(知識及び技能)</p>			
＜単元目標の評価規準＞			
<p>(1) 決められた役割を最後までやりきることができる。(思考力・判断力・表現力等、知識及び技能) (2) 指導者への作業の確認、報告等を適切な言葉で行うことができる。(思考力・判断力・表現力等) (3) 入退室の挨拶や、返事を敬語で行うことができる。(主体的に学習に取り組む態度) (4) 見本どおりの製品を作ることができる。(知識及び技能)</p>			
＜児童生徒の実態と目標＞			
児童生徒名	実態(単元内容と絡めて)	個人の単元目標	手立て
A (1年)	<p>確認、報告をすることは指導者からの言葉かけが必要である。 作業し続けることはできるが、技術の定着に課題がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に報告ができる。 手順の終わりを自身で見極めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 手順が終わる毎に、言葉かけし、報告を促す。 具体的な回数を示す。 見本と見比べ、違いを認識させる。
B (1年)	<p>指導者への報告、相談はできるが、友達への確認や皆の前での感想発表は抵抗があり、取り組めないことが多い。 工程を理解し、主体的に作業を進められるが、持続する力が弱い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 人前で自分の意見を発表することができる。 時間いっぱいまで継続して作業をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 順番を配慮する。待てる環境をつくる。 具体的な個数をあげ、見通しをもって作業ができるようにする。

C (2年)	指導者の促しがないと動きだすことができない。 苦手意識があるため、作業に気持ちを向けることが難しい。	<ul style="list-style-type: none"> 作業に向かえるように気持ちを整えることができる。 道具の準備等、主体的に動くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 一つずつ言葉かけをし、活動を促す。 準備物がわかるよう視覚的に示す。
D (3年)	報告をせず、自分で作業を進めてしまうことがある。 作業中の自分の注意点や全体の様子を振り返ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 工程が終わるごとに報告ができる。 作業時間は集中して作業を続けることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 始めは指導者から報告をすることに気づかせ徐々に減らしていく。 気持ちが途切れた時は言葉かけをして、作業へ注意を向けさせる。
E (3年)	確認の報告を行うことができるが、不安感から何度も手順の確認を行ってしまう。 決められた時間作業し続けることが可能だが、休憩時間のメリハリがつきにくい。	<ul style="list-style-type: none"> 適切な指導助言を求められることができる。 休憩時間に場を離れトイレ等に行くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 一つずつの評価を行い、自信をもって作業に向かえるように言葉かけをする。 仕事をし続けている時は場を離れさせる。
F (3年)	手指の操作性は低いながらも報告、確認を行いながら丁寧に作業を進めることができる。 指示を理解し、時間いっぱい集中して作業を進めることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 丁寧に作業することを意識できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 早くやっつけてしまおうとするときは「ゆっくり」「丁寧に」と言葉かけをする。
G (3年)	丁寧に作業を進めることができるが、報告、確認を怠ることがあり、集中力の持続が難しい。	<ul style="list-style-type: none"> 最後まで集中力を切らさず作業することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 手が止まっているときは言葉かけをし、作業を促す。

単元計画表

次 (時間)	学習活動	評価規準
1次 (3時間)	・作業学習（窯業）オリエンテーション	・作業学習の意味を理解し、次回からの作業内容に見通しをもつことができる。(知識及び技能、主体的に学習に取り組む態度)
2次 (12時間)	・豆皿作り（個人作業）	・製品の作り方を理解し、適切な報告、相談ができる。(知識及び技能、思考力・判断力・表現力等)
3次 (15時間)	・豆皿作り（分業）	・責任をもって、自分の役割をやり切ることができる。(知識及び技能、主体的に学習に取り組む態度)
4次 (3時間)	・製品梱包（「ふれあい・心のステーション」に向けて。）	・製品を決まりにしたがって梱包することができる。(知識及び技能、主体的に学習に取り組む態度)

<この単元で身についた力>	<次の単元に生かせる力>
<ul style="list-style-type: none"> 適切な報告や挨拶等をする力 時間いっぱいまで集中して作業できる力 授業の振り返りをすることができる力 	<ul style="list-style-type: none"> 自分から周囲の方や指導者と適切なコミュニケーションをとり、自分から作業に気づけるようになる。 自分のできる苦手がわかり、工夫して作業ができるようになる。

「喜びをともにする授業」～多様性は可能性～



児童生徒の変容エピソード

	写真	児童生徒の様子
一次		生徒Eは、毎回作業日誌に目標や振り返り、自己チェックを記入することで注意するポイントの意識付けをすることができました。同じ製品を繰り返し製作する中でしたが、指示待ちで指導者に一つ一つ確認を取りながら進める様子が多くみられました。
二次		生徒Eは、一つ一つの手順を覚えてきて、確認することはありますが「どうやった？」とこちらから質問すると「こうだったかな？」と独り言を言い、自分で確認しながら作業を進めることができるようになってきました。
三次		生徒Eは、作業日誌を、始めはひらがなで書いていましたが、少しずつ漢字を使って書くようになってきたり、次回頑張ることも同じ事を書いていたのが、自分で考えて書いたりできるようになりました。何に気を付けたら良いかが分かってくると、指導者に確認する回数も減り、一人で作業を進める時間が増えました。
<p><単元全体をとおして></p> <p>不安が大きいのので何度も確認して失敗しないようにする生徒ですが、少しずつ受け身の姿勢から主体的に動けるようになってきました。調理実習では、1年生にピザ生地伸ばし方を手本を見せて説明したり、実習で習った箸の使い方を学校でも活用したりと少しずつ自信をもって取り組めるようになっていきます。</p>		